



小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代
1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziroyc Yacht Club

2023年11月号 VOL-305

2023.11.10 発行

今月の内容

ページ

連絡事項	(編集委員)	1
「相模湾ヨットフェスティバルに参戦し、優勝しました！」(IDEAL 林 康一)		2
「Kamakura3 横山 CUP 参戦記」	(Kamakura3 尾山 純一)	3
「第61回小網代カップレース 開催報告」	(小網代フリートキャプテン 高木 信之)	4
「11月3日(金・祝)～5日(日)ハーバー作業 風景」(事務局)		4

今後のイベント予定

11月 KFR	: 11月19日(日) Hコース(9:55 予告)
総務委員会	: 11月20日(月) 19:00～ ハイブリッド(リアル会議と Zoom 会議)で実施
KYC 臨時総会	: 12月2日(土) 13:00～ ハイブリッド(リアル会議と Zoom 会議)で実施
ハーバー作業	: 12月9日(土)～10日(日) 11月作業の続きを行う予定

連絡事項

1. KYC 臨時総会 12月2日(土) クラブハウス2階にて、13時から開催します。

小網代湾上に架かる都市計画道路(西海岸線)は小網代湾内に橋脚2脚が聳え立つプランとなっています。この計画ではKYC泊地の真上となり、この計画が私たちの活動にどのようなことになるかと心配になるところです。

議題：①小網代ヨットクラブの一般社団法人化についての決議
②小網代湾横断架橋計画と今後についての意見交換

会場と Zoom によるオンラインで参加いただけます。オーナー及び代表者の各艇に案内と参考資料を郵送しています。出欠届のハガキは、11月20日(月)までにご投函していただくようお願いいたします。オンラインでの参加者には後日直接事務局よりご案内いたします。

2. 11月3日(金・祝)～5日(日)ハーバー作業が行なわれました。

1列目から作業を行いましたが、各艇の係留索のモニターが外れたり、外れかかっているものが多くあり、作業時間がオーバーしたため2列目までで作業は終了しました。3列目からを12月9日(土)10日(日)で行う予定。ご協力よろしく申し上げます。なお、各艇のモニターは、点検確認及び補修を各艇で行い管理を徹底してください。

3. 第61回小網代カップレースは20艇参加で無事に終了しました。

11月4日～5日行われ、KYCから1艇のみ参戦しました「テティス4」は、今年から設けられたダブルハンド(乗員2名)部門に参戦しました。艇数も多くなりファーストホーム艇から最終艇のフィニッシュまでかなりの時間差があり、スタッフのメンバーも徹夜の体制となり、ここ2・3年の経験とは違いができました。恒例のおでん配布の皆様もお疲れ様でした。

相模湾ヨットフェスティバルに参戦し、優勝しました！

IDEAL 林 康一

小網代の夏祭りと同じ日に開催された相模湾ヨットフェスティバルに参加させていただきオープンクラスのファーストホームとオープンクラス 1 位をとることが出来ました。小網代の夏祭りにも参加するメンバーもいるため、メンバー不足のところ参加できそうな人に助け人をお願いしてメンバーをかき集めての参加でした。また、申し込み時には当初 IRC クラスでの参加を考えていましたが今年度の証書が無いことが分かり急遽オープンに変更しての参加でした。IRC のレーティング申し込みをしたところまでは記意していましたが、その後レーティングの申込受付がされていなかったようで、レース申し込みの段階で気づき失敗でした。結果としては、オープンクラスで好成績を残せたので満足しています。相模湾ヨットフェスティバルとは相性が良く、前の IDEAL の時も良い成績を残しているし、久しぶりにパーティーも行われるので絶対に入賞しようと参加メンバーはレース開始前から、かなり気合が入っていました。

スタートは、まずまずの所から出ることが出来ました。レース中の風速は 2~5kt と弱く、風向は 285度~180度とかなり大きく振れていました。我々は岸よりのコースをとり第一マークの南西ブイを目指しました。南東からの潮がきつく、艇のスピードメーターと GPS での対地速度をこまめに確認しながら、風が落ちた時に艇速を落とさないようにセールトリムとハンドリングに集中しました。レース前半では大型艇に先行されました。潮目で身動きが取れなくなり焦りましたが、その時に取ったコースが功を奏して、中盤から盛り返し徐々に順位を上げていきました。コース短縮となり南西ブイフィニッシュとなった事は幸運だったかもしれません。さらにレースが続いていたら集中力は続かなかっただしょう。先にスタートした IRC・ORC のクラスとフィニッシュ直前にまみれてしまったので順位の確信はもてませんでした。もしかしらオープンクラスのファーストホームかもしれないとみんなでレース結果を楽しみに表彰式に参加しました。過去の相模湾ヨットフェスティバルのパーティーは食事豪華で、海外航空チケットも当たる抽選もあり例年通りの内容を期待していました。コロナ禍後初のパーティーでは、物価高の影響なのか分かりませんが、他のヨットレースパーティーと同様の食事内容であり航空券などの豪華景品もありませんでした。とは言え、ファーストホーム賞とクラス優勝の賞品を貰い晩夏の最高のひと時となりました。

オープンクラスの総合順位では、ARTEMIS が 1 位で IDEAL は 2 位でした。来年は、レーティングの申込を忘れずに IRC で参加するか ORC レーティングを取得しての参加も考えてみたいと思います。



Kamakura3 横山 CUP 参戦記

Kamakura 3 尾山 純一

コロナの感染拡大で第4回以降開催されなかった横山CUPが、9月30日に第5回が開催され、横山氏設計の20艇のヨットが小網代湾口スタート、南西ブイ回りのレース、パーティーを楽しんだ。毎回ボランティアでの運営で、パーティーもアットホームな楽しいレースである。運営の皆さんにはいつも頭が下がる。



Kamakura3は、第4回で2位に入っており、何とか今回も上位を狙うべく、毎回の約束通りの人集めを始めた。今回は、YBS 山下氏、Tictac オーナーの庄野氏、Alpha の伊藤氏の支援をいただき、Kamakuraのメンバーである眞井、平賀三奈子、畠山、菅沼、尾山の8名でレースに臨んだ。数日前からの天気予報で、微風予報が出ていたため、9月17日のKFRでの潮流の分析を行い、30日の10時から15時くらいまでの潮を予測した。また、レース用の風潮の予測ソフトをお持ちの某ベテランセーラーからも予測データを頂き、悪い頭をオーバーヒートさせながらレース戦略を立てた。



スタートは北微風、その後風は東に振れ、南から南西になると読み、潮は南西ブイまでは引きで追い、北流が始まるのは最干時刻の1時間後と読み、往路、復路とも追い潮のコースを狙うことにした。スタート後即スピンUP。赤白ブイでは、良いスタートを切っていたFUHTA DE PASSERに次いで2位で回航し、左海面を進む。横には常勝のShark Xが、その他は概ね後方で、次第に前に出てトップに出る。そのままスピンで走るも、その後風が振れ、早めにJibを上げ、前方に南の兆候のパフを見つけ、タックルで城ヶ島方向に向ける。この判断が当たり、他艇が沖に出ているところで、南に振れた風をつかみ、全艇を離し、最上に位置して南西ブイまでは、風位船速とも優位に立ち、追い潮に乗って南西ブイをトップ回航した。ある予想モデルとは真逆の潮であった。本当に潮読みは難しい。南西ブイで、回航後に逆潮を読み切れず、大回りしてしまう。スピンでもなかなか進まず、タイムリミットが心配になるほどであった。帰りは南西の風。また、南西ブイまでの



上りの貯金がものを言い、他艇を離してのスピラン。遠からマストヘッドスピンのZipangが大きなスピンで追いかけてくる。何とかリードを保ち、13時15分頃赤白ブイを目視確認。後続艇とマークの間に艇を置くようにし、我慢して走っていたが、その後、13時30分頃コース短縮のために、本部脇が湾口から出てきた。我々は赤白ブイを交わして、Finishすると想定していたため、FinishラインとZipangの間に艇を位置させていたが、短縮されたFinishラインが、後続艇から良く視認できる位置となったため、赤白ブイを先行して回航できる位置にいたKamakuraは、一気にZipangに並ばれることになってしまった。大きなスピンでスピードに勝るZipangにFirst Homeを許す結果となった。秒読みをするとKamakuraは65秒差で2着、3時間を超えるレースであったため、12秒差の僅差での優勝となった。

第5回ヨコヤマカップ
Y-CUP 成績表

日付 2023/9/30
時刻 10:30:00 原簿 11:50 NM

SAI. NO.	艇名	艇種	TMF	計測時刻	所要時間	艇身長	乗員数	順位
321	Kamakura-3	IMS-1000	1.0889	13:42:44	3:12:44	11564	1388	2
5797	Zipang	IMS1000 MOD	1.0984	13:41:33	2:11:59	11495	1234	3
4952	Oboro	Amis25	1.0952	14:04:09	3:04:09	10865	1234	4
5854	Hayab	Seam31	1.0982	13:47:02	2:17:59	11823	1242	5
150	SHARK X	VTE11FK	1.0793	13:49:59	3:09:59	11999	1261	6
3387	BASO	SEAM-31	1.0791	13:52:58	2:52:58	12178	1262	7
4832	BAKUROTS	SL0731	1.0924	14:01:15	3:01:15	10975	1272	8
4150	ODN	SEAM-31	1.1102	13:47:00	2:17:00	11879	1273	9
6140	FORTALEZA 2	Amis25	1.0980	14:13:48	3:03:48	11424	1294	10
4953	Red Ocean	SEAM31	1.0932	14:09:07	3:09:07	12147	1302	11
7015	Kaiser AL TRISTAN	SL0731	1.0984	14:10:33	3:08:33	12120	1310	12
6330	FUHTA DE PASSER	VTE11FK	1.0948	14:02:01	3:02:01	12021	1319	13
6166	CALLYBIV	VTE11FK	1.0752	14:07:50	3:17:50	12070	1356	14
6331	CRUSA	SEAM-31	1.1102	14:14:16	3:04:16	12618	1318	15
4317	Crusoid	Amis25	0.9989	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF
6898	真珠丸	Amis25	0.9989	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF
899	ALPHA	R23 TYPE E	0.9308	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF
2118	ALPHA	SEAM31	1.0752	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF
6378	アランズスSangyoku	VTE11FK	1.0752	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF
3383	Wood Stock	SEAM-31	1.0751	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF

終始微風の神懸戦の様なレースで、参加20艇中2艇がリタイア、4艇がタイムリミットにかかる微風のレースであった。毎回少ない人数で助っ人を探す日々を過ごしているが、協力いただける方々、特に、ベテランセーラーのおかげで何とかレース活動が出来ている事は、大変幸せな事で、皆様に感謝申し上げます。パーティーでは、横山さんはじめ皆さんと楽しいひと時を過ごさせてください。

第61回小網代カップレース 開催報告

小網代フリートキャプテン 高木 信之

【開催日程】 2023年11月4日(土) 10:30 スタート

ファーストホーム 21:13、最終艇フィニッシュ 11月5日(日) 05:29

【参加艇数】 全20艇 IRCクラス16艇、IRCダブルハンドクラス3艇、ORCクラス7艇

【成績】 First Home : LuckyLadyX (K36-SAMURAI)、 IRC 総合 : propaganda (A-35)、

IRC-A : LADY KANON(J130)、 IRC-B : propaganda (A-35)、

ORC : GRANDBLUE (X-350Dmod)、 IRC-DH : Zipang(TSUBOI IMS1030MOD)

【レース概況】 スタート時の海象は 快晴、気温 24℃、風向 220°、風速 18kt、波 0.5m。昨年とは逆のアップウインドスタート。スターボードタック 1 本で大島を目指すと思われた。しかし、風向こそ安定しているものの西からの強い潮に流され艇回りは、かなり東寄りから大島にアプローチすることとなった。タックを返して大島に向かうも、大半の艇が北西に進んでいて相当苦労している模様。その中で Hanamizuki が絶妙なコース取りで竜王埼を 16:06 にトップ回航した。続いて各艇も苦労の末に回航したが、これまた西からの強い潮によって千波崎まで更なる困難が続いた様子。トップ艇団が 1 時間半かかってようやく千波崎に到達し 18 時過ぎに風早から出てきた。風向は変わらず 230°で安定しているが、三崎に近づくにつれて風速が落ちていく様子が伺える。20:19 にコミティスタッフ待望のフィニッシュ 1 時間前コールが入り、おでん隊が始動。この頃、陸の気温は 23℃。名物の差し入れは熱間ではなく、ビールか!? 緩い南風の中、LuckyLadyX がトップフィニッシュ。その後、IRC-A クラスの大型艇が続くが、風が回り始め、22 時半には風向は 0°となった。(これで熱間が喜ばれると安堵した) IRC-B クラス艇が 23 時から 1 時にかけてフィニッシュ。ここから最後の 1 艇を待つこと 4 時間、5:09 に G 艇がフィニッシュし、レースは無事に終了した。フィニッシュタイムだけを振り返れば、昨年一昨年の海象が出来すぎ。これが従来の小網代カップなのかも。今回は昨年同様の 20 艇に参加頂き、Facebook などと同レースの話題が増えてきました。ホストクラブとして大変嬉しく思います。



レースコミティーに参加下さった皆さま、ご支援下さった皆さま、本当にありがとうございました。

追伸 次号の KAZI に小網代カップが掲載されます。(3 大会連続の掲載!!)。内容は Zipang 艇のダブルハンド参戦記。こちら是非、御覧ください。

11月3日(金・祝)～5日(日)ハーバー作業 風景

KYC事務局



杓網丸を使用しての作業

